

野党共闘が画期的前進



逃げ回った安倍政権

臨時国会では野党共闘が画期的前進をとげました。2閣僚辞任に、大学入試の英語民間試験導入延期、自民改憲案提示阻止、「桜」疑惑追及…。

首相は野党が求めた会期延長を拒み、逃げるように会期を閉じました。



聴衆の声援に応える「桜を見る会」追及と本部の野党議員ら=10日、東京（「しんぶん赤旗」提供）

「桜」追及 野党一体で

「しんぶん赤旗」スクープと共産党議員の追及をきっかけに大問題となった「桜」疑惑。野党は共同して追及本部をつくり、共同の宣伝物をつくるなど、結束して首相を追い詰めました。

政権構想と選挙協力を同時に

野党連合政権へ向けて共産党は、れいわ新選組、社民党と協力を確認。15日には立憲民主党とも“安倍政権を倒し、政権を代え立憲主義を取り戻す”と合意。選挙協力と同時並行で前へ進みます。

光る共産党の提案・論戦

“共産党ならではの”取り組みも展開されました。

消費税減税を提案

消費税増税強行をうけ、緊急の5%減税を打ち出しました。

増税が経済に深刻な打撃を与えています。増税で景気を壊しながら、「景気対策」で新たなバラマキをするなど、ばかっています。5%への減税こそ最良の景気回復策です。

ペコペコ外交ただす

安倍外交はペコペコ外交——対米従属に加え、対ロシアでは領土交渉の破綻、対中国では人権問題に抗議なしです。

共産党は“どんな国であれ覇権主義を許さない”と、香港問題では中国へ厳しい抗議を伝えました。

世界で日本で行動する若者たち

気候変動 すぐ対策を



気候非常事態の宣言を求めて行進する「グローバル気候マーチ」東京の参加者=11月29日、東京都新宿区

気候危機に多くの若者が声をあげ、各国政府に取り組みの加速を強く迫っています。この中で開かれた国連気候変動枠組条約会議（COP25）が15日、閉幕しました。

COP25 日本また化石賞

安倍政権は温室効果ガスの削減目標を検討させず、世界の足を引っ張りました。さらに小泉進次郎環境相の発言など石炭火力発電に固執する姿勢も世界

交渉の足引っ張る

の怒りを買って、温暖化対策に消極的な国に贈られる「化石賞」に2度も選ばれました。

安倍政権はただちに抜本的な政策転換をはかるべきです。